

分野	授業科目名	単位数	時間数	配当時期	担当教師
小児看護学	小児臨床看護論	1	30	2年次後期	小児救急認定看護師

テキスト(発行所)	小児看護学[1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論(医学書院) 小児看護学[2] 小児臨床看護各論(医学書院)
-----------	--

参考図書・参考資料	随時提示
-----------	------

学習のねらい	あらゆる健康レベルにある子どもと家族に対する看護を理解する。
学習目標	1. さまざまな症状を示す子どもと家族の看護を理解する。 2. 子どもの状況に合わせた必要な看護について理解する。

### 学習スケジュール

回数	主題	学習内容	履修形態 他
1回	小児臨床看護論講義概要 子どもに出現しやすい症状と看護1	・不機嫌・啼泣を示す子どもと家族の看護 ・発熱のある子どもと家族の看護 ・痛みのある子どもと家族の看護 ・アレルギーのある子どもと家族の看護	講義
2回	子どもに出現しやすい症状と看護2	・呼吸困難を示す子どもと家族の看護 肺炎、気管支炎、喘息など	講義
3回	子どもに出現しやすい症状と看護3	・下痢・脱水を示す子どもと家族の看護	講義
4回	子どもに出現しやすい症状と看護4	・けいれん・意識障害のある子どもと家族の看護	講義
5回	子どもの入院と子ども・家族への影響	・入院が子どもに及ぼす影響と子どもの反応 ・入院が家族に及ぼす影響と家族の反応	講義
6回	慢性期にある子どもと家族の看護	・慢性期疾患の特徴と看護 ・若年性糖尿病の子どもと家族の看護 ・ネフローゼ症候群の子どもと家族の看護	講義
7回	慢性期にある子どもと家族の看護	・先天性疾患の子どもと家族の看護 先天異常の種類と特徴 ・心身障害の子どもと家族の看護	講義
8回	急性期にある子どもと家族の看護	・急性期疾患の特徴と看護 ・川崎病の子どもと家族の看護 ・IgA血管炎の子どもと家族の看護 ・腸重積の子どもと家族の看護	講義
9回	外来における子どもと家族の看護	・小児科外来看護の特徴 ・外来と病棟の連携	講義
10回	周手術期の子どもと家族の看護	・周手術期の特徴と看護 ・手術を受ける子どもと家族の看護	講義
11回	活動制限のある子どもと家族の看護	・活動制限の目的と子どもの生活 ・隔離の目的と子どもの生活	講義
12回	災害時の子どもと家族の看護	・災害時による子どものストレス	講義
13回	救急処置が必要な子どもと家族の看護	・おもな事故・外傷と看護(誤飲、溺水、熱傷) ・虐待が疑われる場合の対応 ・小児救急におけるトリアージと対応	講義
14回	在宅療養を行う子どもと家族の看護	・在宅療養を行う子どもと家族の特徴を看護 ・専門職の連携と社会資源の活用	講義
15回	終末期にある子どもと家族の看護	・災害時による子どものストレス ・子どもの死の理解と反応 ・終末期にある子どもと家族の看護	講義

単位認定の方法	1. 30時間のうち、24時間以上の出席があること 2. 筆記試験100点満点 3. 1の要件を満たし、試験60点以上で合格
---------	--

受講上のアドバイス	
-----------	--